



平成28年度「里山の森ミュージアム」

MISIAの里山ミュージアム2016

写真募集要項

趣 意
昨年秋より「MISIAの里山ミュージアム」は、里山の森や里山環境の魅力を再発見していただくことを目的とした写真コンテストです。ぜひ、MISIAの里山や里山に出かけ、多くの生き物が暮らし、豊かな自然や伝統的な暮らしが感じられる里山を探検してください。レンズを通して、人、自然や生き物との関わり、そして、生活や環境の大切さについて一緒に考えてみましょう。たくさんのご応募をお待ちしています。

応募資格
どなたでも応募できます。

作品規定
●MISIAの里山で撮影した里山の写真で、平成28年4月15日に撮影されたもの。
●縦向きで撮影された写真。1枚の作品は最大で5枚。
●デジタルカメラ、スマートフォンで撮影した写真でも構いません。編集アプリ等で加工した作品の応募も可です。
●作品は一人5点以内で、自分、家族のもの。

応募方法
応募用紙に必要事項を記入の上、写真データとあわせてEメールで送付するか、C/D-R等のメディアに保存し郵送にてご応募ください。

【Eメールで応募する場合】
題名に「forest@muse-net」(※MISIAの里山ミュージアム写真展)と入力し、MISIAの里山ミュージアム事務局へ送信してください。
・応募用紙(※MISIAの里山ミュージアム事務局)を添付し、メール本文に作品タイトル、コメント(100字以内で撮影した理由、作品への思いなど)、撮影場所、撮影年月日、氏名(フリガナ)、ペンネーム(氏名を記載したくない場合は、年齢、性別、住所、電話番号をご記入の上、ご応募ください)。

【郵送で応募する場合】
郵出先：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-13
一般財団法人muse-net MISIAの里山ミュージアム事務局
※応募用紙は郵送で、(お申し込みの用紙に添付して送付する場合は郵送用紙にしてください。)

mudef news CONTENTS

P2

HOPE FOR JAPAN
熊本地震で再始動

写真コンテスト

P3

体験型イベント
MISIAの森
里山ミュージアム

P4

JAL×MISIA
タンチョウ
フォトコンテスト

mudef information



mudef news Vol.55

音楽とARTを通じたよりよい世界づくりを目指す
mudefの「今」をお伝えするニュースレターです。

mudef news is a report on mudef's current activities,
which aim to change the world in a better way through music and art.

2016年6月30日発行





4月に発生した熊本地震。mudefでは、この災害による甚大な被害を前に、東日本大震災で立ち上げた「HOPE FOR JAPAN」を再始動しました。

さっそくHPで支援を呼びかけたところ、たくさんの募金と被災者に向けたメッセージがmudefに届きました。

また、5月のGWに山梨県の河口湖ステラシアターで開催された「MISIA星空のライブIX」で募金活動を実施。3日間でなんと1,366,650円の募金が集まりました！

さらに、高橋まことさん率いるバンド「JET SET BOYS」にもご協力頂き「JET SET BOYS LIVE TOUR 2016」の会場で募金活動を行って頂きました。

そしてmudefでは、たくさんの方々から寄せられた募金を熊本市の「くまもとエンタメ支援金」に寄付することになりました。

この支援金は、大きなストレス抱えて生活続ける被災者をエンターテインメントの力で元気づけるため、コンサート会場の復旧や、復興ライブの開催などを目的に熊本市が5月から設けています。

「音楽とアートの力」を信じて活動続けるmudefは、この趣旨に賛同し、支援を通して奏でられた音楽が被災された方々の心に少しでも届いてほしい、という願いをこめてこの支援金に寄付をさせていただきます。

被災直後からのたくさんのご協力、本当にありがとうございました。mudefでは今後も、熊本地震の被災地支援を続けていきます。



熊本エンタメ支援金×mudef チャリティーオークション開催

理事のMISIAやGLAYのTAKUROをはじめ熊本市出身の石川さゆりさんなど、mudefに賛同頂いたアーティストたちによる豪華なチャリティーオークション。プレミアムな品を続々と出品予定ですので、ぜひご参加ください！詳細はHOPE FOR JAPANのHPで近日公開します。

MISIAの森・横浜MISIAの森プロジェクト

写真コンテスト実施中

<http://satoyamabasket.net>

今年も石川県の「MISIAの森」と横浜市栄区の「MISIAの森プロジェクト」で写真コンテストを開催します。たくさんのご応募お待ちしております！

《MISIAの里山ミュージアム2016》

<http://satoyamabasket.net/forest/>

《フォトコンテスト春・夏 答えは森にかくれてる-MISIA×YOKOHAMA-》

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/kusei/moripro/event/>





6月11日、石川県津幡町にある石川県森林公園のMISIAの森で、体験型イベント「MISIAの里山ミュージアム」を開催しました。

「豊かな自然+楽しむアート」をテーマに1日を通して森で遊んでもらうことを目的に様々な企画を用意。とても暑い日でしたが、たくさんの方に来て頂くことができました。このイベントをきっかけに、ぜひ今度も森に足を運んで、自然の尊さや、生き物のつながりの大切さを感じて頂けたらと思います。

ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました。

《ガーランド作り》

京都に住むデザイナーの徳力あすかさんにオリジナルのガーランドをデザインして頂きました。可愛い布で作ったガーランドが森を彩りました。

《エコバッグづくり》

同じく徳力さんが作ったMISIAの森のロゴのオリジナルスタンプと布ペンを使って、布製のエコバッグをデザイン。大人から子どもまで、大人気な企画となりました。



《森の家族写真教室》

「家族の記念写真」をテーマにカメラマンの田中雅也さんに撮影方法をレクチャー頂きました。田中さんが撮影した家族写真のプレゼントも。プロカメラマンによる温かい写真に参加者も大感激！

《森の野草教室》

森の植物の中には食べられる野草がたくさん。それを天ぷらにして食べてもらう企画でしたが、意外なほどに美味しい！

《写真展示》

去年開催した写真コンテスト「MISIAの里山ミュージアム」の全応募写真を森の中に飾り付け、アートな空間を演出しました。6月以降も飾られているので、ぜひ見に来てくださいね。

《ハンモック》

木と木の間にハンモックを吊るしました。森の中でハンモックに揺られて、みなさんとても気持ち良さそうでした。



5月22日の「国際生物多様性の日」に理事のMISIAがメッセージを発表。このイベントでもご紹介しました。とても優しく、大切な内容です。ぜひチェックしてみてください。

→<http://mundef.net/messages/2016/05/22/000877.html>

第3回JALタンチョウフォトコンテスト審査結果発表

<http://www.jal.com/ja/environment/happyeco/tancho2015.html>

3回目となるJALのタンチョウフォトコンテスト。JALのシンボルマークでもあるタンチョウを通して自然の大切さを感じてもらうことを目的にしています。今回も、生物多様性の啓発活動に力を入れている理事のMISIAが特別審査員を務めました。全719点の写真の中から、MISIA賞が決定しました。

MISIA賞：雪降りに舞う 〈前田賢一様〉
寒い雪降りに群で舞うタンチョウ。給餌場に行く途中なのか、冬に生きる厳しさを感じさせてくれる。



《特別審査員MISIAコメント》

まるで一枚の絵のように美しいですね。

タンチョウは絶滅危惧二類。長い期間での保護活動が実り、一時期より数が持ち直しているそうです。生命には生きていく環境とともに、ある程度の個体数が必要。

そのような意味でも、こうして群れでタンチョウをみることができるのは、重要なことだと感じます。今も絶滅危惧種ではありますが、このまま保護活動が実り、絶滅危機から脱し、このような光景が繰り返されていきますようにという願いも込めて、この写真を選びました。

mudef information

《project magosoキャンペーン》

マゴソスクールの音楽大会出場zzzzを応援しよう！

アフリカ・ケニアのスラムで暮らすマゴソスクールの子どもたちが全国音楽大会に出場するため、その費用を支援するキャンペーン。理事の早川千晶さんから、地方予選も順調に勝ち進んでいるという嬉しい報告を頂きました。全国大会は8月。mudefでは7月末までキャンペーンを行っていますので、ぜひご協力をお願いします。

詳しくはHPまで。

<http://mudef.net/magoso/2016/03/10/000857.html>

ソトコト8月号／7月5日（火）発売

MISIA あふれ出る想い「影絵の世界に」

今月は、MISIAが敬愛してやまない影絵作家の藤城清治さんと対談。

藤城さんのアトリエを訪ね、作品作りに対する思いや「生きる力」についてお話を伺いました。



We are mudef

mudefは、音楽(music)とデザイン(design)を組み合わせたコトバ。地球には、解決しなくてはならないコトがたくさんあります。様々な問題に取り組むためには、国境を超えて人びとが協力し合うことが大切です。そのために生まれたのが、mudef(ミューデフ)。

「地球と人類が直面する宿題解決をちょっぴりでもお手伝いしたい。国境も言語も人種も超えるチカラを持つ音楽とデザインの特技を活かして！」そう考えるアーティストの集まりです。

mudefへのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

〈ご寄付はこちら〉三井住友銀行 渋谷駅前支店 普通4201703

お問い合わせ：info@mudef.net

We have so many issues to solve. To solve the problems, it is crucial that people cooperate with each other beyond borders. We, mudef, was established for that purpose. The term mudef is a combination of the words music and design. We want to contribute to solving the issues the Earth and human beings are facing, even if only slightly, through exploiting the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races. mudef is a group of artists who share that principle.

